

事例 No.7 外国の子どもの学習サポーター養成講座（公開講座）

一般社団法人 磐田国際交流協会

主たる対象者	外国の子どもの支援に関心がある人、既支援者（公開講座のみ）
目標	外国人児童生徒等の現状と支援のあり方について概要を理解し、支援についての関心をより高める
研修内容	③「外国人児童生徒等受け入れの現状と施策」他★④⑤⑥⑩⑪⑫⑰
形態・方法	講義型
時間	115分

★本事業報告書（2017）「養成・研修内容構成」（pp.72-76）の項目

2. 現状と課題

（1）外国人児童生徒等の数・分布とその民族背景

磐田市で2018年5月1日現在、市内公立小中学校32校中28校に582名の外国人児童生徒等が在籍している（うち外国籍のみは23校に454名が在籍）。

国籍は最も多いのがブラジルであり、フィリピン、ペルー、中国、ニュージーランドが続く。日本国籍を含むフィリピンルーツの子どもが増加しているのが特徴である。また少数だが、アルゼンチン、パキスタン、バングラディシュ、ベトナム、スリランカ、ポルトガルの児童生徒が在籍しており、外国人児童生徒等の多国籍化が見られる。

（2）外国人児童生徒等の受け入れ・指導体制

日本語指導については、磐田市教育委員会学校教育課が受け入れ窓口となり、2018年度現在、県費による加配教員11校12名、学び方支援非常勤講師8校6名（80時間／週）を配置している。また磐田市の市費から外国人児童生徒初期支援教室 NIJI コーディネーター1名、外国人児童生徒支援員5名、外国人児童生徒相談員6名（ポルトガル語5名、タガログ語1名）、JSL サポーター※14名（2018年度実績）という指導体制で日本語指導を行っている。

※JSL サポーター：在籍学級での学習においてJSLカリキュラムに則り、入り込みで学習をサポートする支援者

（3）外国人児童生徒等教育に関わる支援員の教育力の課題

- ①本事例の対象者には、JSL サポーターに関心を持つ一般市民も含まれるため、まずは外国人児童生徒等の現状に関する概要の理解が必要である。
- ②JSL サポーターの経験の有無に関わらず、外国人児童生徒の実態には一人ひとり個人差がありそれぞれへの対応力を向上させることが必要である。

2. カリキュラム（研修実施計画）

★本事業報告書（2017）の「養成・研修内容構成」（pp.72-76）の項目

研修名	外国の子どもの学習サポーター養成講座 第1回（公開講座）			
受講者	・人数：33名 ・年齢層：20代（1）名 30-40代（7）名 50代（7）名 60歳以上（18）名 ・その他：			
テーマ	③「外国人児童生徒等受け入れの現状と施策」 ★④⑤⑥⑩⑪⑫⑰			
講師等	【前半】愛知淑徳大学 准教授 小島祥美氏 【後半】磐田市教育委員会 指導主事 田中暁子氏			
目標	外国人児童生徒の現状と支援のあり方について概要を理解し、支援についての関心をより高める。			
活動展開（115分）	★	形態	留意点	資料・教具等
【前半（90分）】 導入：1. アイスブレイク／5分 2. 外国人児童生徒等の現状に関するグループワーク（10分） 3. 外国人児童生徒が置かれた現状について考える（35分） <休憩／5分>		話し合い	事前の配布はワークシート（資料1）のみ 1グループ4～5名で向かい合わせで座る。 外国人児童生徒等の現状に関するクイズをグループごとに考える	資料1
	③	講義	・外国人児童生徒等受け入れの現状と施策、	資料2～7
	⑩	講義	DLA理論編を説明し、認知発達と言語習得について理解する	資料8
	⑥		社会的、歴史的背景、講師自身の経験について説明する	
	⑪		講師の経験、高校入試の特別枠や試験方法等について話す	資料12,13
	⑫	話し合い 講義	写真（フィリピン、ブラジルの移民の生活風景）を見て話し合う 児童生徒の母語・母文化・アイデンティティについて話し合う フォトストーリー映像（5分程度）を見て、外国人児童生徒等の心理と適応について説明する	資料9

4. サポーターができることを考える (20分)	⑱	話し合い	・やさしい日本語の考え方と生かし方を説明し、「ごんぎつね」をリライトしてみる	資料 10、11
まとめ 5. 求められるサポートとは? (15分)		講義	・応援できる情報とネットワークを紹介する モチベーションと自己肯定感 保護者への適切な情報提供とスキルアップ支援	資料 14、15
【後半 (15分)】 磐田市の現状と支援体制について(15分)	③ ④ ⑤	講義	磐田市の外国人の動向 外国人児童生徒の動向 外国人児童生徒の受け入れと支援体制 最近の進路状況	資料 16

3. 実施者による振り返り

本事例は、外国人児童生徒等の支援の概要を理解することに重点をおいた研修である。実際に日本語指導を行うのではなく、在籍学級での学習の場で入り込みでサポートする者、及びその候補生を対象としていることから、研修への期待も、外国人児童生徒の現状と課題といった概要や磐田市の現状、子どもへの接し方や具体的な支援方法を知りたいとするものが多かった。受講生へのアンケート結果を見ると、特に「外国人児童生徒等受け入れの現状と施策」はほぼ全員がよく理解・満足しており、本研修の目的は達成されたと言える。本研修は、続く第2回～第3回での初期支援教室、取り出し授業、在籍学級での入り込み支援といった異なる支援現場の見学を通じて現場の実態把握、具体的な支援方法に関する学びを経て、第4回で実際に支援を体験できるよう設計されており、その過程で回を重ねるごとにサポーターという立場の理解が実感として深まったようである。また追跡調査からも、受講によって子どもの心に寄り添った支援の意識化や多様性に対する寛容といった態度面の変化や、支援方法の具体的な工夫や改善といった技能面の変化も見られたようである。

一方で、入り込みでの学習支援を行う JSL サポーターはその立場上、在籍学級の担当教員等の連携や学校教育や教科学習に関する知識が必要であるが、実施した講座の中では学校教育関係者との学びあいの場の設置は困難であり、今後検討を要する。

また、当協会が必要とする JSL サポーター養成に必要な内容を、本事業の内容・項目例の一覧から選択するのは難しかった。

実際の研修では、前半が 100 分程度、後半が 25 分程度と、計画案より時間が長くなったため、質疑応答の時間が取れなくなった。

4. 資料

(1) 使用/参照した資料一覧

資料 2 「都道府県別 国籍・地域別 在留外国人 (2017 年 12 月末現在)」

※政府統計の総合窓口・在留外国人統計 (旧登録外国人統計) を元に講師が作成

http://www.moj.go.jp/housei/toukei/toukei_ichiran_touroku.html

資料 3 「静岡県における外国人の住民基本台帳人口の調査 (平成 29 年 12 月 31 日現在)」※静岡県ホームページ「県内の外国人の住民基本台帳人口」に基づき講師が作成

<https://toukei.pref.shizuoka.jp/tabunkakyouseika/data/02-050/documents/heisei29.pdf>

資料 4 「磐田市における国籍別外国人の人口 (2018 年 8 月末現在)」

http://www.city.iwata.shizuoka.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/006/018/30101608.pdf

資料 5 「日本語指導が必要な外国籍の児童生徒の学校種別在籍状況 (都道府県別)」

資料 6 「日本語指導が必要な外国籍の児童生徒の母語別在籍状況 (都道府県別)」

資料 7 「日本語指導が必要な日本国籍の児童生徒の言語別在籍状況 (都道府県別)」

※資料 5～7 は文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査 (平成 28 年度)」に基づき講師が作成

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/06/1386753.htm

資料 8 文部科学省『外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント DLA』3-5 p

http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2018/05/24/1405244_1.pdf

資料 9 フォトストーリー映像「ぼくとわたしのフォトストーリー」(小島祥美氏と松阪市教育委員会による企画制作)

資料 10 「ごんぎつね」『光村図書国語 4 年下』P24-25

資料 11 「ごんぎつね」リライト教材 (公立小学校教員による自主作成)

資料 12 静岡県教育委員会ホームページ「平成 31 年度公立高校をめざすあなたへ 2」より抜粋

<https://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-050a/nyushi/documents/31mezasuanata2.pdf>

資料 13 「都道府県立高校における外国人生徒・中国帰国生徒等に対する 2018 年高校入試の概要」

https://www.kikokusha-center.or.jp/shien_joho/shingaku/kokonyushi/other/2017/2017matome%20.pdf

資料 14 「海外からの移住の子映像で自己表現」2018 年 9 月 18 日朝日新聞夕刊

資料 15 「ブラジル国籍弁護士誕生へ」2018 年 4 月 11 日岐阜新聞朝刊

(2) 配布資料

資料 1 ワークシート「外国人の子どもが置かれた現状と課題とは何か」

資料 16 磐田市教育委員会作成「磐田市の現状と支援体制について」